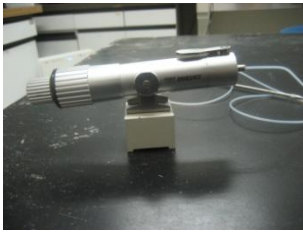


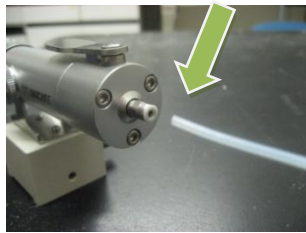
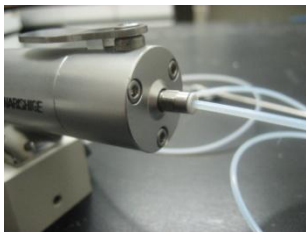
ナリシゲ社の新しいエアータ입インジェクター (IM-11) の試用

最近販売開始されましたナリシゲ社の新しいインジェクター (IM-11) のデモ機をお借りすることができましたので、試用した感じをまとめてみました。

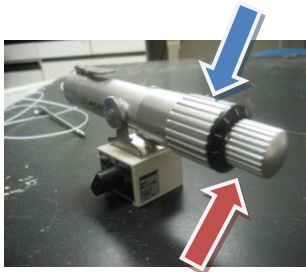


このインジェクターはライン内が空気のタイプで、以前から同社の IM-9C という型式がエアータ입としてありましたが、この IM-11 はライン内がオイルタイプの機種と操作感が非常に近づいているというのが特徴です。

矢印の部分を押すことにより、ライン内の空気を一度解放することができます。ライン内のエアの量で吸引排出の鈍感敏感の操作感が変化しますが、インジェクションピペットを装填して ICSI 作業をしている中でも、この機能によって操作感を調整させることが可能です。これはオイルタイプでは難しかったことです。

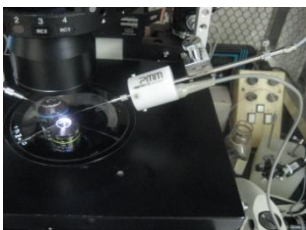
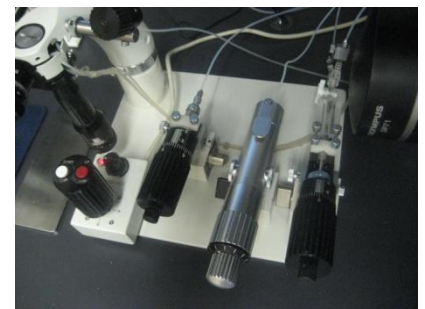


チューブの脱着がワンタッチでできるようになっていました。以前のタイプは、熱であぶって広げてこじ入れてと大変でしたが、非常に扱いやすくなっていました。



粗動ダイヤル (青) と微動ダイヤル (赤) が付いていて、細かな吸引排出操作ができるようになっていましたが、粗動だけでも十分操作できました。

大きさは、同社 IM-9B と大体同じくらいの全長でした。



左図のように Piezo 装置に装着してマウス ICSI を試みましたが、オイルタイプのものほとんど同じような感覚で操作可能でした。同じエアータ입の IM-9C と比べて個人的には格段とインジェクション操作がやりやすくなっていると感じました。

また、この機種を用いてヒト卵の ICSI も行いましたが、全く問題なく操作することができました。

現在オイルタイプをご使用されている方でも、問題なく移行することができると感じました。オイル補充やメンテナンスの煩雑さから解放されることを考えると非常に良い機種であると思いました。

ご興味のある方は、是非お試し下さい。